

# 美しい「いえなみ」を目指して

## 緑や自然を活かす

(生垣、植樹帯の形成)

道路側を見せる庭として植栽することで、緑豊かな潤いのある「いえなみ」となります。

沿道の快適性を高めるとともに、環境負荷の低減にもつながります。

植栽や塀・柵をセットバックさせ、季節の草花を植えることにより、四季の移り変わりを楽しむことができます。

敷地内や地域の見通しを良くした美しい「いえなみ」を調えることで、防犯性にも優れ、地域全体で犯罪の抑止を図ることも期待できます。



## 地域資源の活用

(県産材の活用)

木塀にすることにより、木のぬくもりを感じることができます。

県産材の有効活用にもつながります。



## 歴史・文化の継承

(伝統工法の活用)

長い歴史の中で地域に育まれてきた伝統的な工法で整備することにより、地域固有の文化を次世代に受け継いでいくことができます。

伝統的な工法を活用した土塗りの塀は、防火性にも優れています。



沼津垣 (沼津市)



なまこ壁 (松崎町)

## 周囲との調和

(高さ、素材、色調の統一)

高さをそろえることにより、統一感のある「いえなみ」となります。高さを1.2m以下に抑えると、圧迫感が和らぎ、開放性が高まります。

塀・門柱・門扉の素材や樹木の樹種をそろえることにより統一感が生まれます。

素材をそろえることができない場合でも、色調をグレー系、ベージュ系、茶系などにそろえることにより、周囲の景観と調和した美しい「いえなみ」となります。



# 県民の皆様へ

## 危険な塀 撤去で安全 美しく改善

まずは、

### 危険の除去

- 道路に面するブロック塀や石塀については、県発行の「ブロック塀の点検と改善」（耐震ナビ検索）などを参考に、点検を実施してください。
- 点検の結果、危険と判定されたものは、速やかに撤去をお願いします。
- 県内の市町では、撤去費用に補助をしています。



その上で、

### 安全に

- 設置する塀や柵は、適切な基礎や、目的に合わせ高さを抑えるなど、安全性を確保しましょう。

### 美しく

- 町内会や近所の方と十分に話し合い、互いに協力して、「緑や自然を活かす」、「周囲との調和」などに配慮しながら、美しい「いえなみ」を目指しましょう。
- 美しい「いえなみ」を調えるために、住民同士が協力し合う仕組み（協定など）も効果的です。



### 適切に管理

- 劣化や損傷の具合を定期的に点検し、特に、地震や台風などの後には、壊れた箇所がないか確認しましょう。
- 樹木は、成長に合わせ、剪定、刈込み、植替えを行うなどにより美しい「いえなみ」を育みましょう。

平成 30 年 9 月

静岡県 暮らし・環境部 建築住宅局 建築安全推進課

TEL 054-221-3320 FAX 054-221-3567

E-mail kenchikuanzen@pref.shizuoka.lg.jp

危険なブロック塀をなくし



道路に面するブロック塀等は、地震により転倒すると、歩行者に重大な危険を及ぼすとともに、災害救助等の障害にもなります。危険な塀はいち早く撤去し、安全なものに造り替えるなどの対策が求められています。

住宅の塀は、所有する人だけでなく、道行く人々にとっても、暮らしの空間を彩るなど、公共性を併せ持っています。緑豊かな生垣や、高さ、素材、色調などをそろえた調和のとれた塀をつくるのが大切です。

地域の皆さんが協力して、安全で、美しい「いえなみ」を形成し、育てていくことは、ゆとりや潤い、安らぎに溢れる景色と、心の豊かさを感じられる暮らしの実現につながります。

静岡県